

スマートエネルギーシステムに関するアメリカ調査団参加案内

本会では、平成28年4月に「スマートエネルギーシステムに関する調査研究」プロジェクトを発足させ、現在第2期（後半）の調査研究を進めております、このたび、アメリカ調査を以下のとおり企画しました。

スマートエネルギーの活用に積極的に取り組むアメリカ合衆国の現地を訪ねて視察、意見交換を行うことは、参加者各位にとって大きな意義があり、今後の研究推進に充分資するものと存じます。趣旨ご賛同のうえ、多数ご参加賜りますようご案内申し上げます。

2019年7月吉日

一般社団法人 エネルギー・資源学会 研究プロジェクト委員長 浅野 浩志

- 主 催 一般社団法人エネルギー・資源学会
- 団 長 一般財団法人電力中央研究所エネルギーイノベーション創発センター 研究参事、
岐阜大学教授、東京大学 客員教授、東京工業大学 特任教授 浅野 浩志
- 調査期間 2019年9月22日（日）～29日（日）
- 募集人数 10名程度
- 参加費用（HPに案内します。）
 - ＜参加費に含まれるもの＞
 - 1. 現地交通費（貸切専用車費用等） 2. 宿泊料金（1人一室利用） 3. 食料料金（日程表記載分）
 - 4. 団体行動中のチップ・税金ならびにサービス料 5. 通訳費用（視察時間内） 6. ガイド費用 等
 - ＜参加費に含まれないもの＞
 - 1. 航空運賃（全行程） 2. 空港施設使用料、現地空港税、燃油サーチャージ 3. 超過手荷物運搬料金
 - 4. 個人的な諸費用（電話代、クリーニング代、日程表に記載されない飲食物代等） 5. 任意海外旅行傷害保険代
 - 6. パスポート取得費用（印紙代、証紙代、申請代行手数料） 7. 日本国内移動に伴う交通費および宿泊費
 - 8. 渡航手続取扱料金 等
- 申込期限 2019年8月9日（金）
- 申込方法 以下の申込書にご記入のうえ、メールまたはFAXにてお申し込み下さい。
- 問い合わせ先 一般社団法人 エネルギー・資源学会（担当：岡部）
〒550-0003 大阪市西区京町堀1-9-10（リーガルスクエア京町堀）
TEL 06-6446-0537 FAX 06-6446-0559 E-mail: okabe@jsr.gr.jp
- 訪 問 先 ※詳細日程は、HPに案内。
 - ①SMUD（サクラメント電力公社）：Distribution Technology Center 視察等
 - ②UC Davis：The Energy and Efficiency Institute
 - ③SDG&E（サンディエゴ・ガス&エレクトリック社）：電力系統用蓄電池（RF電池）視察、
Microgrid 視察
 - ④UC Irvine：National Fuel Cell Research Center

キ リ ト リ 線

エネルギー・資源学会 スマートエネルギーシステムに関するアメリカ調査団 参加申込書					
フリガナ			年齢	勤務先	
ご氏名			才		
生年月日	年	月	日	男・女	所属・役職
フリガナ					
現住所	〒				所在地
	TEL ()		-		TEL ()
国内連絡先	氏名	続柄	E-mail	No.	
	住所	〒			パスポート
	TEL ()		-		年 月 日 発行

エネルギー・資源学会 第7回茅賞・第7回学生発表賞・第15回論文賞受賞者決まる

（受賞者の所属は研究発表／論文発表当時、敬称略）

【第7回茅賞】

本賞は、平成24年5月に制定され、本会会員で、エネルギー・資源・環境に関し、本会の研究発表会あるいはコンファレンスで研究発表を行い、特に優秀な研究業績が認められた新進気鋭の方（過去に本賞の受賞実績のある場合は研究内容が大きく異なる場合に限る）1～2名を表彰するものです。

本年は、以下の方が受賞されました。

研究発表題目	受賞者
自治体スケールのエネルギービジョンを対象としたフューチャー・デザイン	木下 裕介（東京大学）

【第7回学生発表賞】

本賞は、平成24年5月に制定され、本会の学生会員で、エネルギー・資源・環境に関し、本会の研究発表会あるいはコンファレンスで優れた研究発表を行った方（原則として過去に主執筆者として本賞の受賞のない者に限る）3～4名を表彰するものです。

本年は、以下の方々が受賞されました。

研究発表題目	受賞者
自然変動電源の予測誤差を考慮した電気自動車の充放電制御による系統柔軟性の経済性評価	吉岡 七海（東京大学）
エネルギー部門を詳細化した動学的多部門エネルギー経済モデルの開発と日本における最適電源運用の検討	磯貝 基（東京大学）
PVシステムの火災・飛散に対するリスク評価の検討	小林 樹（筑波大学）

【第15回論文賞】

本賞は、平成16年10月に制定され、前年1月より12月までの会誌「エネルギー・資源」に論文要旨が掲載され、電子ジャーナル「エネルギー・資源学会論文誌」に全文が掲載されたもので、エネルギー・資源および環境に関する科学技術の発展に多大な貢献をした著者を表彰するものです。

本年は、以下の方々が受賞されました。

論文題目	受賞者
経済性・環境性・レジリエンス性を考慮した分散型電源機器導入量決定のための多目的最適化ツールの開発	上道 茜，八木 正彰， 山崎 由大，金子 成彦（東京大学）

【第8回学会賞/第8回学会貢献賞】 該当なし

令和元年度表彰式のお知らせ

【日時】 令和元年8月5日（月）14：00～14：20

【会場】 東京大学 駒場Iキャンパス 900番教室（講堂）

各賞受賞者紹介

(受賞者の所属は研究発表/論文発表当時、敬称略)

〔第7回茅賞受賞者〕

〔受賞者略歴〕



業績：自治体スケールのエネルギービジョンを対象とした
フューチャー・デザイン

受賞者：東京大学 木下 裕介（きした ゆうすけ）

2010年9月 大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻 博士後期課程修了
2011年4月 大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻 特任研究員
2012年4月 大阪大学環境イノベーションデザインセンター 特任助教
2015年4月 産業技術総合研究所製造技術研究部門 研究員
2016年4月 東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻 講師
現在に至る

〔第7回学生発表賞受賞者〕

〔受賞者略歴〕



業績：自然変動電源の予測誤差を考慮した電気自動車の充放電制御
による系統柔軟性の経済性評価

受賞者：東京大学 吉岡 七海（よしおか ななみ）

2017年3月 東京大学工学部システム創成学科卒業
2019年3月 東京大学大学院新領域創成科学研究科人間環境学専攻修士課程修了
2019年4月 電力中央研究所入所
現在に至る



業績：エネルギー部門を詳細化した動学的多部門エネルギー経済
モデルの開発と日本における最適電源運用の検討

受賞者：東京大学 磯貝 基（いそがい もと）

2015年3月 慶應義塾大学物理学専攻卒業
2017年3月 東京大学大学院工学系研究科修士課程卒業
2017年4月 東京大学大学院工学系研究科博士課程入学
現在に至る



業績：PVシステムの火災・飛散に対するリスク評価の検討

受賞者：筑波大学 小林 樹（こばやし いつき）

2015年4月 筑波大学理工学群工学システム学類入学
2019年3月 筑波大学理工学群工学システム学類卒業
2019年4月 筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻入学
現在に至る

〔第15回論文賞受賞者〕

〔受賞者略歴〕

業績：経済性・環境性・レジリエンス性を考慮した分散型電源
機器導入量決定のための多目的最適化ツールの開発

受賞者：

東京大学 上道 茜（うえみち あかね）

2013年11月 筑波大学大学院博士後期課程システム情報工学研究科構造エネルギー
工学専攻修了
2013年12月 日本学術振興会特別研究員（PD）
2014年4月 東京大学工学系研究科機械工学専攻 助教
2019年3月 東京農工大学工学府 特任助教
現在に至る



東京大学 八木 正彰（やぎ まさあき）

2018年3月 東京大学大学院工学系研究科修了
2018年4月 鹿島建設株式会社入社
現在に至る



東京大学 山崎 由大（やまさき ゆうだい）

2003年9月 慶應義塾大学大学院理工学研究科
総合デザイン工学専攻後期博士課程修了
2003年10月 東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻産学官連携研究員
2004年4月 東京大学大学院工学系研究科 助手
2007年3月 同 講師
2011年9月 ミュンヘン工大 訪問研究員（～2012年7月）
2014年3月 東京大学大学院工学系研究科 准教授
現在に至る



東京大学 金子 成彦（かねこ しげひこ）

1976年3月 東京大学工学部機械工学科卒業
1978年3月 東京大学大学院工学系研究科船用機械工学専攻修士課程修了
1981年3月 東京大学大学院工学系研究科船用機械工学専攻博士課程修了
1981年4月 東京大学工学部船用機械工学科 講師
1982年4月 東京大学工学部船用機械工学科 助教授
1985年9月 [兼] マギル大学（カナダ）機械工学科 客員助教授（～1986年8月）
1989年4月 東京大学工学部附属総合試験所 助教授
1992年4月 東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 助教授
2003年4月 東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授
2018年4月 [兼] 早稲田大学理工学術院 客員教授（～2019年3月）
2019年4月 早稲田大学理工学術院 教授
現在に至る

